本展は当館コレクションの中心である版画と陶芸作品を特集展示し、細部の美しさに着目するものです。「版で魅せる」では版画の制作過程で生み出された“版”を中心として、「暮らしと器　西洋と日本」では暮らしの文化に息づく”器の美”をご紹介します。

版で魅せる」では完成した版画作品だけでなく、そこに至る過程で制作された木版の版木や銅版画、リトグラフの原版に焦点を当てます。刻まれた線に宿る細やかな手仕事の美しさを通じて、版画の奥深い世界をご堪能ください。一部では版木に触れたり、原版を拡大鏡で観察したりと、作家が制作において最も時間をかけ向き合うことで生み出された“版”の持つ細やかな美を体感できることでしょう。

また、「暮らしと器 西洋と日本」では、西洋と日本の暮らしの文化を映す器を展観し、近年新収蔵したバーナード・リーチやオールドノリタケ、宮川香山の作品をはじめとして、現代の陶芸家による茶器や酒器を紹介します。時代や流行を反映させながら、実用性と鑑賞の美を兼ね備え制作された西洋と日本の器にご注目ください。

みどころ

・完成した版画作品だけでなく、それらの制作過程を示す版木や銅版、リトグラフなどの原版に焦点を当てます。一部では版木に触れたり、原版を拡大鏡で観察したりしてご覧いただくことで、版自体の持つ細やかな手仕事の美しさを体感いただきます。

・令和６年度に新収蔵となったバーナード・リーチやオールドノリタケ、宮川香山の陶磁器をはじめ、現代作家による茶陶や酒器までを紹介し、西洋と日本の暮らしを映す器の美の競演をご覧いただきます。時代や流行を反映させながら、実用性と鑑賞の美を兼ね備え制作された西洋と日本の器にご注目ください。

東広島市立美術館（広報担当：桑原　学芸担当：所　）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町９番１号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

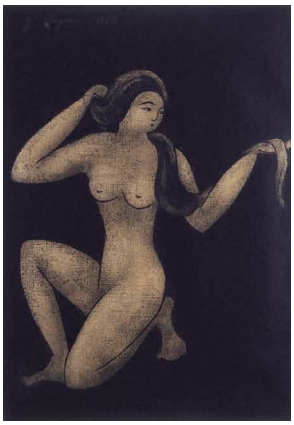
■　開催概要

展覧会名｜コレクション展第Ⅰ期　細やかな美 版で魅せる／暮らしと器 西洋と日本
会　　期｜2026年4月11日（土）～7月12日（日）
時　　間｜9：00 ～ 17：00（入館は閉館 30 分前まで／4月25日（土曜日）、5月30日（土曜日）、
　　6月27日（土曜日）は19：00まで開館
休 館 日｜月曜日（祝日の場合は翌平日）
会　　場｜東広島市立美術館 3階・2階展示室
主　　催｜東広島市立美術館
観 覧 料｜一般 300（240）円、大学生200（160） 円*、75歳以上・高校生以下無料*
　　＊（）限り20名以上の団体2割引
　　＊学生証をご提示ください／身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は、無料でご観覧いただけます。

■　展示構成

第1章　版画技法書と創作版画

郷土ゆかりの版画家・永瀬義郎は、自由な発想で独自の版画世界を築くとともに、明治末以後の自分で描き、彫り、摺ることで版画表現を追求する「創作版画」の普及に尽力しました。本章では、1922年刊行の版画技法書『版画を作る人へ』（永瀬義郎著、日本美術院）を中心に、版画技法書に関わりのある作家とその作品を紹介します。



永瀬義郎《髪》1928年

第2章　版木からみる「木版画」

木版画は、版木という素材に向き合うことで生まれる表現です。本章では、井上涼《「写楽式洗顔」浮世絵》の版木や摺り見本から、江戸時代に大きく発展した伝統的な浮世絵版画の分業制による制作工程を展示します。また、創作版画の系譜に連なる朝井清、吹田文明、小林敬生による作品とその版木を展示することで、その物質感や彫りの痕跡、版の重なりから立ち上がる表現の豊かさをご覧いただきます。

小林敬生 《遺された部屋No.4》 版木（部分） 1977年

第3章　原版からみる「銅版画」

銅版画は、銅板の凹みにインクを詰めて刷り取ることで成立する、版に刻まれた痕跡が像となる表現です。本章では、直刻法や腐蝕法といった多様な技法が用いられた“原版（銅版）”に着目します。井上涼による、異なる銅版画技法による作品を見比べるだけでなく、銅版画の技法を組み合わせた有地好登の作品や、国立印刷局の摸刻資料にも目を向け、その繊細な凹凸がいかにイメージを形づくるのかを読み解きます。

有地好登 《お喋りなバラ－旧古河庭園》原版（部分） 1999年

第4章　原版からみる「さまざまな技法」

本章では、木版画と銅版画に加え、シルクスクリーンやリトグラフといった多様な版種の表現を紹介します。木下泰嘉の作品では、複数の原版を用いた刷りの工程や、同じモチーフによる木版とリトグラフによる表現の違いを見比べることができます。さらに、井上涼による版画制作を題材にしたアニメーションや、重ね捺し体験コーナーを通して、「版の魅力」を体感いただきます。

木下泰嘉《Strawberry Fields Forever-1-Y（Mt.Fuji-1）》2005年

第5章　バーナード・リーチとオールドノリタケからみる暮らしの器

1926年、『日本民藝美術館設立趣意書』を契機に、柳宗悦らが提唱した「民藝」は、日常の手仕事に「用の美」を見出す思想です。本章では、その理念に共感したバーナード・リーチや、西洋の生活様式にあわせた洋食器（ディナーウェア）を大正時代に国内でいち早く完成させた、（株）ノリタケに代表される「オールドノリタケ」を通じて、西洋の生活様式に応じて生まれた器をご覧いただきます。

オールドノリタケ 日本陶器合名会社
《色絵金点盛風景文ティーセット》 1918-1941年頃

第6章　日本における暮らしの器

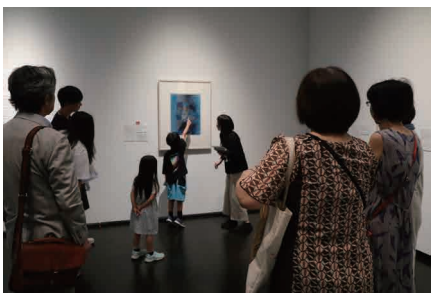
日本では、器は手に持って使うことから「身体の延長」として捉えられてきました。手触りや口当たりが意識された器形など、そうした感覚に根ざした器のかたちと美意識を、宮川香山をはじめとして、現代の陶芸家による茶陶や酒器を通じて紹介します。暮らしの器を通じて、用途と鑑賞の両面で私たちの日々を豊かにしてきた器の美をご堪能ください。

十四代今泉今右衛門
《色絵薄墨墨はじき菊唐花更紗文酒器》2017年

■ 関連イベント

1　ギャラリートーク

担当学芸員が展示の見どころについてお話ししながらご案内します。
日時｜4 月 19 日（日）、6 月 6 日（土）14:00 ～ 14:45
会場｜3 階、2 階展示室（申込不要）
参加費｜要観覧券

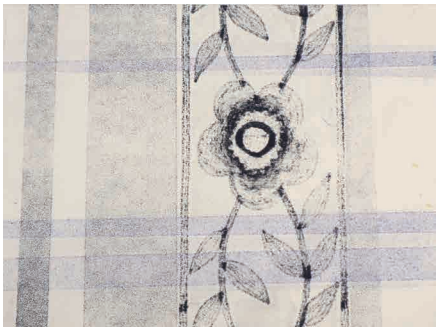


※画像は過去のギャラリートークの様子です。

2 ミュージアムコンサート

東広島を拠点に新たに活動を始めたシンフォニーオーケストラによる、
本展からイメージした楽曲をお届けします。
日時｜4 月 29 日（日）15:00 ～ 15:40
演奏｜くららシンフォニーオーケストラ アンサンブルコンサート
会場｜1 階ロビースペース（申込不要・参加無料）

3　ワークショップ「サンドペーパーで版画カードをつくろう！」



※画像は参考作品です。

サンドペーパーを好きな形に切って台紙にのせ、
色つきカーボン紙を重ねてプレス機で押し、形や模様が写った
オリジナルの版画カードを作ります。
日時｜5 月 5 日（火・祝）13：30 ～ 16：00
講師｜船越まなみ（版画家）
会場｜1 階アートスペース
定員｜15 名（事前申込制）※1 組 4 名まで申込可
対象｜小学 3 年生以上（小学生は保護者同伴）
参加費｜1,000 円　締切｜4 月 22 日（日）必着

4　ベビーカ・ーツアー

※画像は過去のイベントの様子です

ベビーカーで赤ちゃんと一緒に参加できる保護者向けの館内ツアーです。
授乳室など館内の設備と展覧会をご案内します。
赤ちゃんを連れてはじめて来館する方にもおすすめです。
日時｜5 月 23 日（土）、6 月 20 日（土）各日 10:30 ～ 11:00
講師｜担当学芸員、美術館ボランティアほか
会場｜1 階ロビー、展示会場ほか
定員｜各回 3 組程度（事前申込制）※1 組 3 名まで申込可
対象｜ベビーカーや抱っこひもを使っている 1 歳半くらいまでの子どもの保護者
参加費｜要観覧券
締切｜開催日の 5 日前まで

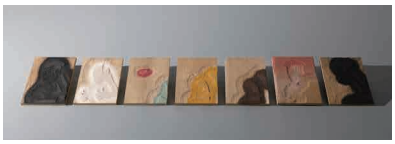
5　ワークショップ「マイカップで楽しむ白市紅茶と新茶」

展示室で器を鑑賞したあと、地元の紅茶や新茶の背景を知りながら、
ご持参のマイカップで香りや風味を引き出すいれ方を学びます。
日時｜6 月 7 日（日）14:00 ～ 15:00
講師｜山本陽子（御屋敷紅茶工房代表）
会場｜1 階アートスペース
定員｜10 名（事前申込制）※1 組 2 名まで申込可
持参物｜マイカップ（急須、ティーカップ・湯呑 各 1 点）
対象｜中学生以上
参加費｜500 円　締切｜5 月 25 日（月）必着

東広島市立美術館　広報用画像申込書

■FAX　082-430-7118　■　2636026@izumi-techno.jp（東広島市立美術館　指定管理者　㈱イズミテクノ）

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年　月　日	掲載号発売日	年　月　日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年　月　日まで		

広報用画像一覧掲載ご希望の画像（□にチェックをいれてください）					
① □		③ □		⑤ □	
② □		④ □		⑥ □	

■作品キャプション

① 小林敬生 《遺された部屋No.4》版木（部分） 1977年

② 井上涼 《「写楽式洗顔」浮世絵》版木 2021　［制作協力：アダチ版画研究所］

③ 有地好登 《お喋りなバラ－旧古河庭園》 1999年

④オールドノリタケ 日本陶器合名会社 《色絵金点盛風景文ティーセット》 1918-1941年頃

⑤ 十三代 今泉今右衛門《色鍋島薄墨すすき文花瓶》1981年

⑥ 宮川香山（初代） 《仁清意春日蝶香合》 20世紀前半